

平成28年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成29年3月1日(水) 北海道防衛局 4F 共用会議室
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 名誉教授) 木下委員(監査法人銀河 理事長) 津田委員(弁護士)  (50音順)

II 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年 3月31日	
審議対象件数	318件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数10件	(審議概要)
一般競争	7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から、契約状況及び低入札状況の説明</li> <li>・対象件数から抽出した10件の内9件の概要について局担当者の説明後、委員による審議</li> </ul> <p>*1件(随意契約)については、予定時間を超過したため審議を取りやめ。</p>
指名競争	0件	
随意契約	3件	
	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員からの意見・質問</li> <li>○それに対する回答等</li> <li>○一般競争契約</li> </ul>	<p><b>【低入札状況説明】</b></p> <p>(なし)</p> <p><b>【抽出案件】</b></p> <p>①[北海道防衛局(27)ガソリン購入等単価契約]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度によって予定金額にばらつきがあるが、どういうことか。</li> <li>・1者応札の理由は。</li> <li>・入札参加を敬遠しているのは、過去に参加していた業者か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度予定数量が変わっているためである。過去3カ年のガソリン使用量の平均を、予定数量としている。</li> <li>・業者からの聴き取りによると、ガソリンは金額の変動が激しいため頻繁に変更契約を行うことになるが、給油業者は中小企業が多く従業員も少ないため、事務が複雑な本件の入札参加を敬遠しているとの声が多かった。そのため、平成29年度分の発注では、資源エネルギー庁の公表価格を自動的に契約単価に反映させることにより変更契約の必要をなくし、業者が参入しやすくなるよう契約内容を見直した。</li> <li>・平成29年度発注にあたり、札幌近辺の10者程度の業者に聴き取りをしたものであり、過去の参加業者が言っているということではない。</li> </ul>

	意見・質問	回答
○一般競争契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の入札での参加業者が、参加しなかった理由は。</li> <li>・使用数量は、防衛局でどのように管理しているのか。</li> </ul> <p><b>②[北海道防衛局（27）千歳飛行場周辺住宅防音事業に係る事務手続補助等業務（その3）]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防音事業の事務手続補助業務とは具体的にどのような内容か。</li> <li>・防衛施設協会の主たる業務は何か。</li> <li>・1者応札が続いているが平成25年度の入札に参加していた業者が、参加しなくなった理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃業及び参加資格を有していなかったりという理由である。</li> <li>・給油した職員からの報告と、業者から請求される数量を突合させ管理している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業である住宅防音事業は、本来、申請者である住民が手続きを行うのが原則であるが、手続きを円滑に実施することが困難なことから、事務手続きについて住民の支援を行う業務である。</li> <li>・協会の定款によれば防衛施設周辺の生活環境の整備に関する諸問題に対する解決と、改善及びその他必要とされる施策についての調査研究を主たる業務としている。その中の一つに住宅防音の受託業務がある。</li> <li>・過去に応札していた業者に聴き取ったところ、会社の体制見直しでこの業務を受けられる状況ではなくなったこと、大量の個人情報扱うのでその体制が整っていないこと、業務地区が合わないこと、個人相手なので夜の対応となる等から敬遠しているとのことである。</li> </ul>
○一般競争契約	<p><b>③[北海道防衛局（27）丘珠駐屯地ほか24施設財産管理調査業務]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に同種事案はないのか。</li> <li>・隣接地とはどこまでの範囲か。</li> <li>・調査の狙いは何か。</li> <li>・財産管理調査価格内訳表について、どのように作成したのか。</li> <li>・落札率が高い理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事案は、財産管理の一環として隣接地の調査を行うもので、平成27年度から実施している。</li> <li>・防衛施設の境界に接している部分である。</li> <li>・財産管理の一環として内向きの管理から、施設に接している外側まで調査するものである。</li> <li>・測量業者に説明を行ったうえで見積りを徴取し、その内容を基に作成した。</li> <li>・見積りを徴取した業者が入札に参加したことが一因かと思う。</li> </ul>

	意見・質問	回答
○一般競争契約	<p><b>④[平成27年度矢臼別演習場周辺地区施肥業務]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加業者が少ない理由は。</li> <li>・他の演習場で施肥業務を行っている事例はあるのか。</li> <li>・この入札では、同一業者の受注が続いているが、この事案で落札できない他の業者が他の地区の事案で独占的に受注しているような関係性はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業としては肥料を散布する作業だが、その作業をする機材を持っている業者が少ないためと思う。</li> <li>・実施しているのは矢臼別演習場だけで、騒音対策で買収した移転跡地の管理として実施している。</li> <li>・そのような事はない。</li> </ul>
○一般競争契約	<p><b>⑤[平成27年度陸上自衛隊遠軽駐屯地外7施設財産管理調査業務]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接面積とはなにか。</li> <li>・この業務を行うために現地に行く必要があるのか。</li> <li>・机上で出来る業務であることから、幅広い入札参加が見込めるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛施設に隣接する幅10mを目安として、隣接面積としている。</li> <li>・この業務では現地に行く必要はない。必要な書類を取り寄せて、隣接地の所有者を確認する業務である。</li> <li>・このような業務は一般的ではないことから幅広い入札参加は難しいと思う。業者は決まった積算要領がないことから、入札の際の価格算定を戸惑いながらやっている状況である。</li> </ul>
○随意契約	<p><b>⑥[千歳防衛事務所庁舎施設機械警備]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随意契約でも競争性は機能すると思うが、過去の実績において落札業者の金額は毎年度同じ金額で、参加者もほぼ同じ顔ぶれで、金額もあまり動きがなく不自然に思うが。</li> <li>・積算価格をどのように決めているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即応性が求められる業務なので、毎年、市内で業務可能な業者、全5者に参加してもらい随意契約(少額)を行っている。また、見積合せを行っているので、見積りの最低価格で契約業者を決定している。</li> <li>・事前に参考見積りを徴して、積算金額を決定している。</li> </ul>
○一般競争契約	<p><b>⑦[北海道防衛局(27)公共事業労務費調査業務]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	

	意見・質問	回答
<p>○随意契約</p> <p>○一般競争契約</p>	<p><b>⑧[帯広防衛支局平成27年度定期健康診断]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に見積合せに参加していた業者が、参加しなくなった理由は。</li> <li>・積算価格は、どのように作成したのか。また落札率が100%となった理由は何か。</li> <li>・単価見積りを出しただけで、見積合せの際に100%の見積価格を出せるのは何故か。</li> </ul> <p><b>⑨[北海道防衛局(27)産業廃棄物処理業務単価契約]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が100%となった理由は。</li> <li>・見積価格を予定価格とした理由は。</li> <li>・落札率100%の解消について、今後どのような対応を考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支局は職員が現在26名で、その中で一般の健康診断を希望する職員を対象として実施しているが、当該業者については、当初、受注する際の受診者数に制約がなかったが、その後、最低30名以上という制約が出来たことから参加しなくなった。</li> <li>・積算価格は、検査項目の単価見積りを徴し、安い単価を採用して作成している。なお、採用した単価が落札した業者からの見積りだったため、100%となったものである。</li> <li>・見積合せの際には、事前に検査項目や数量等の診断内容を、参加業者に示したうえで行っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格を作成する際、3者から参考見積りを徴し、一番安い価格を予定価格としていたが、予定価格に見積金額を採用していた業者が落札したことから、落札率が100%となったと考えられる。</li> <li>・産廃処理については、物価誌には関東における単価しか記載がないため、見積価格を採用したものである。</li> <li>・競争性を確保するためには、参加業者を増やす必要があると考えており、昨年度の入札監視委員会での指導を受けて、更に有資格者を探したところ、何社か可能性のある業者があったので、今後資格等を確認するなどして、参加業者を増やすよう努力したい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・特になし</p>	